

2022年度 卒業時における学修成果に関するアンケート

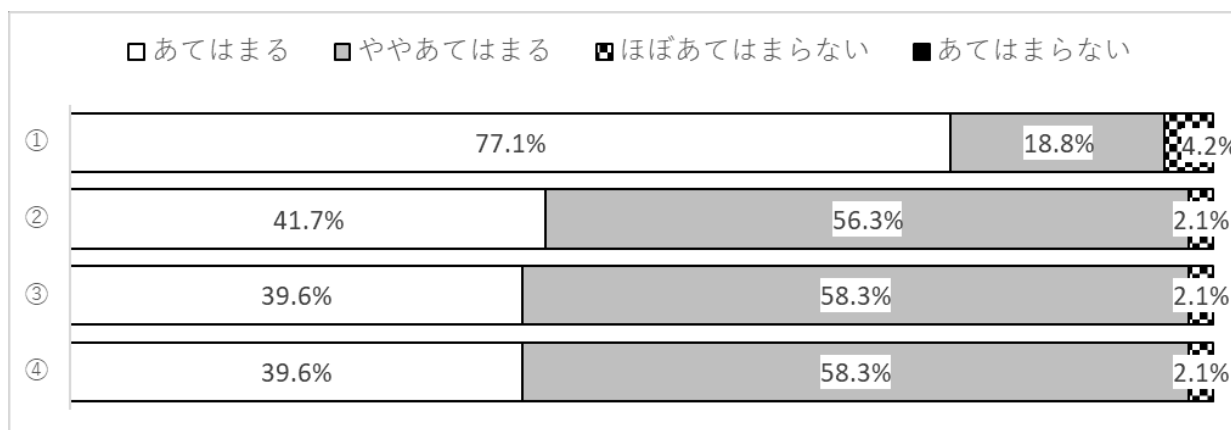
実施日：2023年2月～3月

回答者：M6 48名（回答率49.5%）

1 各項目における自己評価

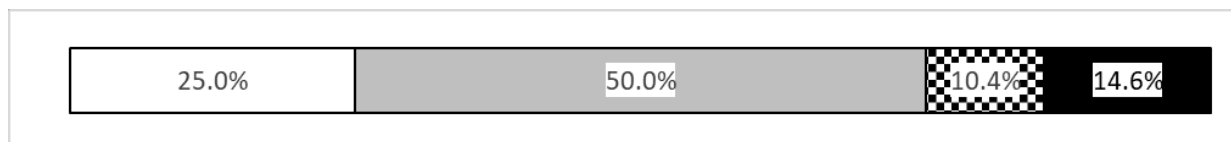
1.1 理念について

- ① 本学の理念である「智仁勇」について知っている
- ② 「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ③ 「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ④ 「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得している



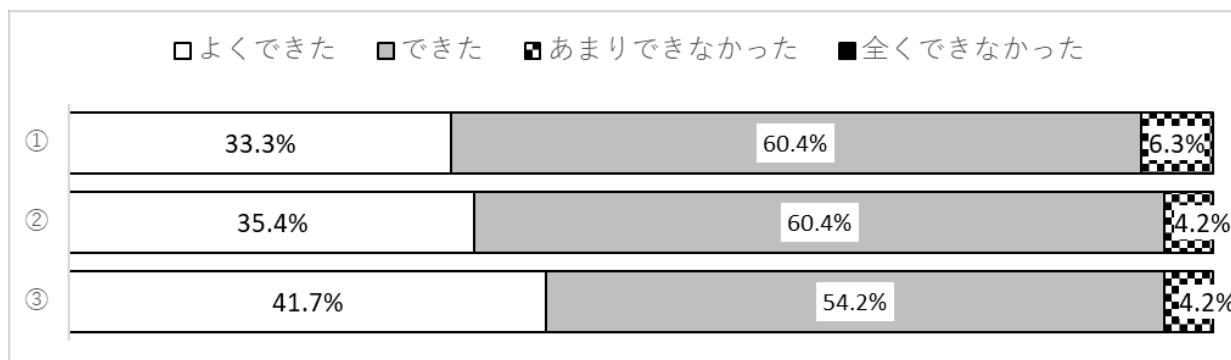
1.2 卒業時コンピテンスについて

本学の学習成果/卒業時コンピテンスについて知っている



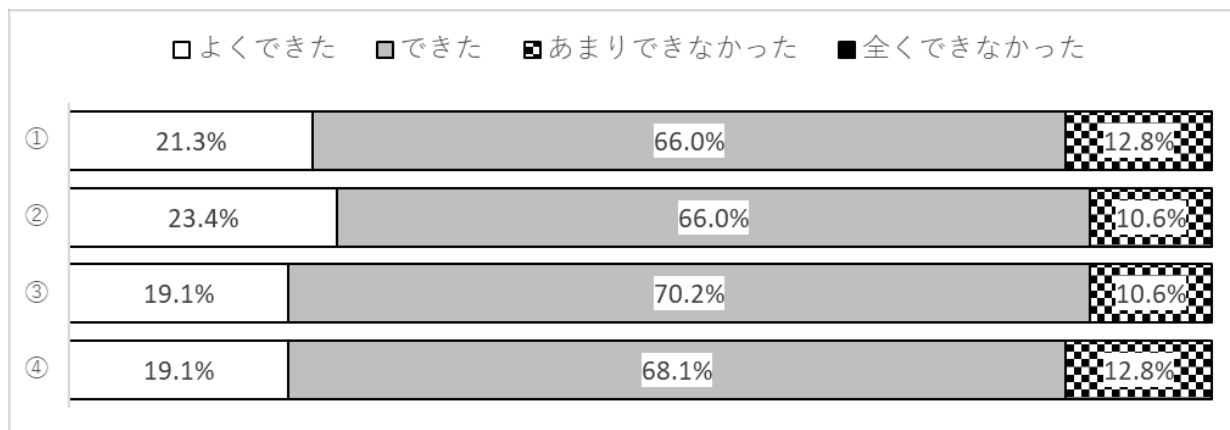
【プロフェッショナリズム】

- ① 患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる
- ② 医療専門職として社会における自己の役割を理解し、継続的に学修することができる
- ③ 高いモラルを持ち、品性のある行動をとることができる



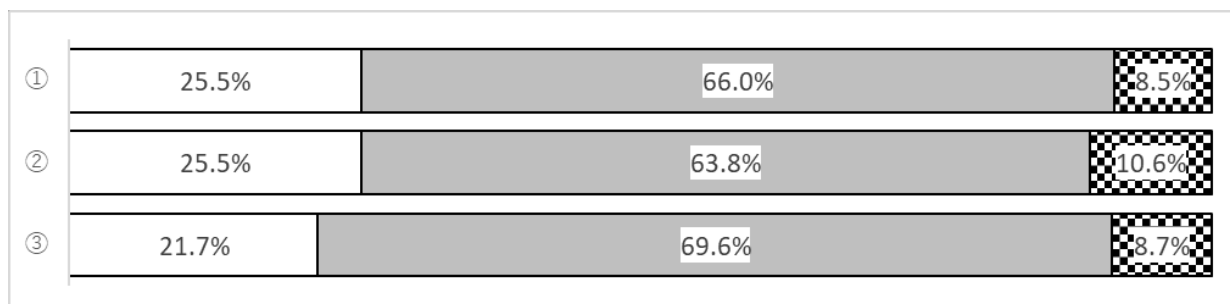
【医学知識と問題対応能力】

- ① 診療や研究の基盤となる基礎医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ② 診療や研究の基盤となる臨床医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ③ 診療や研究の基盤となる社会医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ④ 医療の基盤である生命科学、行動科学などの関連領域の知識と原則を理解し、医療の現場で実践することができる



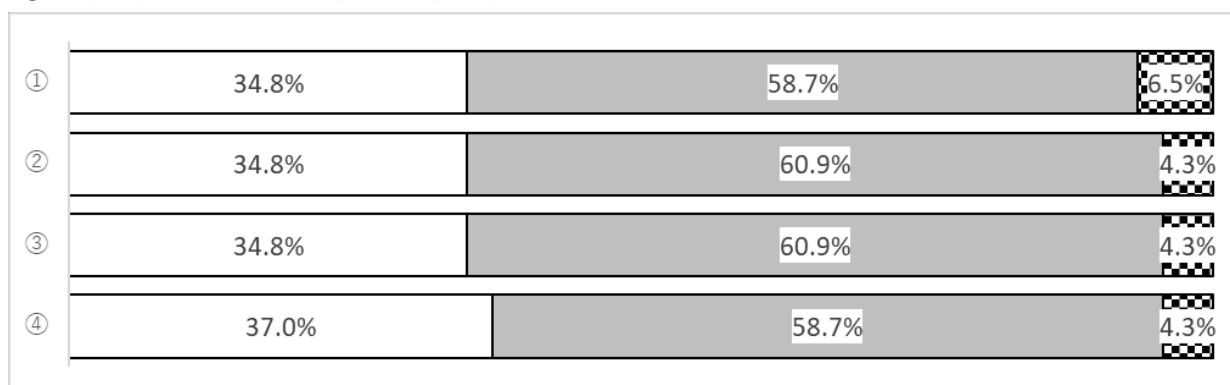
【診療技能と患者ケア】

- ① 論理的で体系的な医療面接、身体診察を行うことができる
- ② 頻度の高い疾患に関して、適切な鑑別診断と治療戦略を立てることができる
- ③ 基本的な臨床手技や緊急救命処置を安全に実践することができる



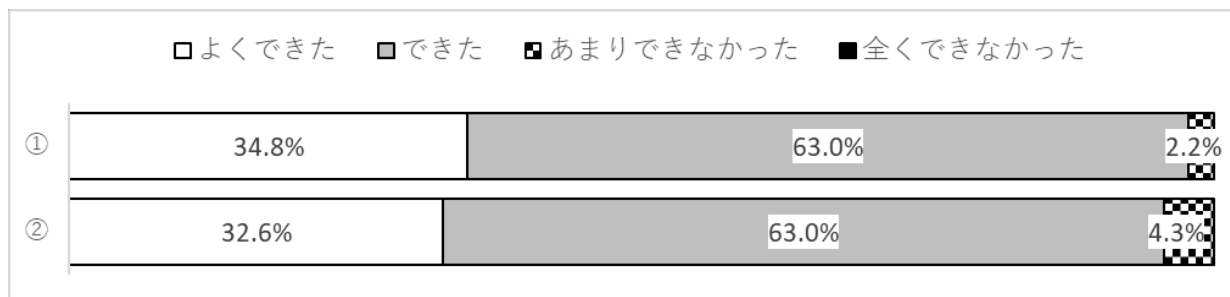
【コミュニケーション能力】

- ① 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる
- ② 患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる
- ③ 適切な症例プレゼンテーションを行うことができる
- ④ 患者の状態について、報告・連絡・相談ができる



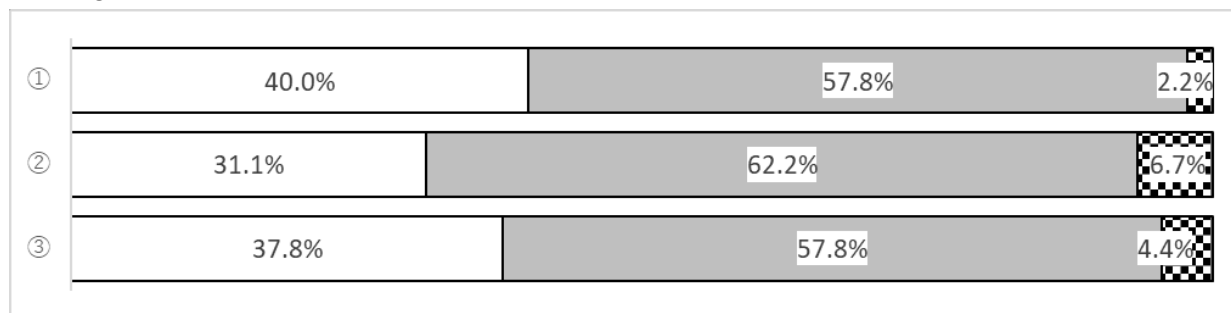
【チーム医療の実践】

- ① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する
- ② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る



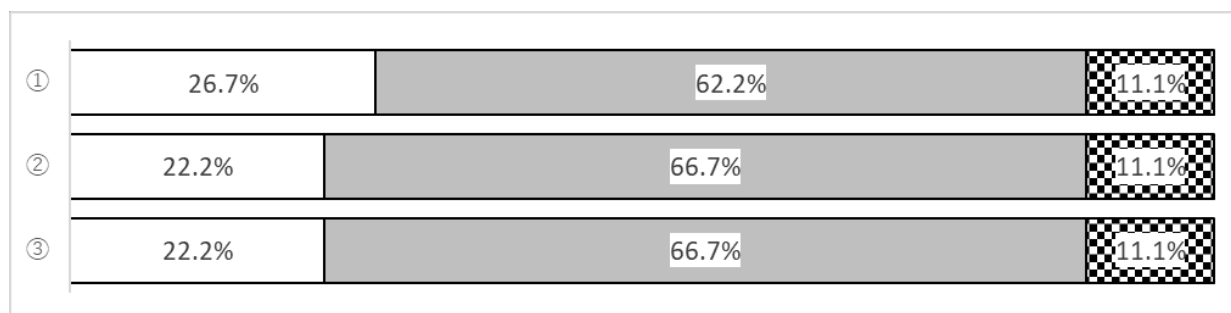
【医療の質と安全の管理】

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解する
- ② 医療事故等の予防と事後の対応を知る
- ③ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める



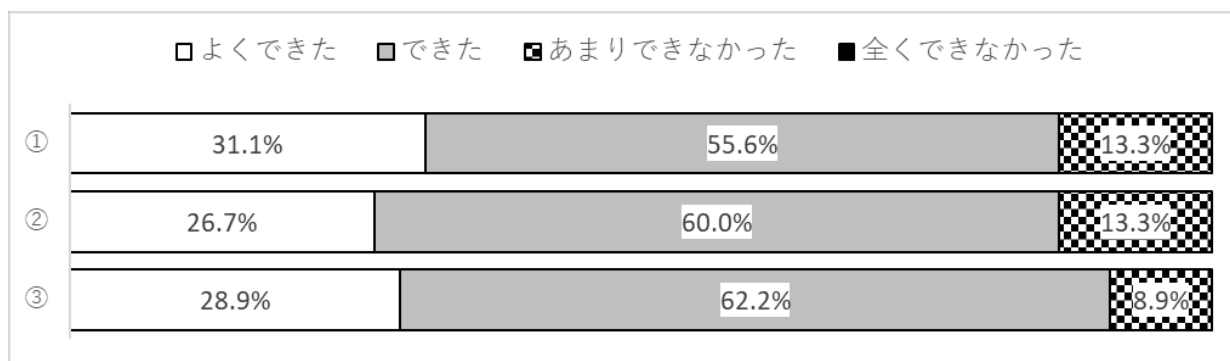
【社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力】

- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する
- ② 大阪の地域医療に携わり、指導/監督のもと診療に参加できる
- ③ 大阪の医療の現状、課題を理解する



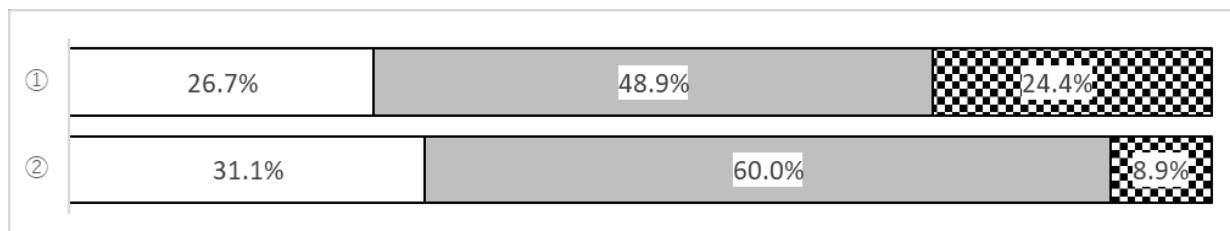
【科学的探究】

- ① 医学及び医療上の疑問点を挙げることができ、適切にエビデンスを収集できる
- ② 科学的研究方法を理解する
- ③ 研究の意義を理解し、参加、協力できる



【生涯にわたって共に学ぶ姿勢】

- ① 国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を学び、吸収できる
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる



1.3 総合評価

明日から、医師として働く自信がある



2 大学生活を振り返って

2.1 6年間の大学教育でもっともよかったと思うこと

- ・実習が豊富で充実していたこと(9)
- ・市中病院の病院実習(3)
- ・コロナ禍で多少制限などはあったが、実習をあらかじめ実施してもらえたこと(2)
- ・OSCE 対策
- ・解剖学実習
- ・SSC での実習
- ・実践的な実習
- ・バランスのとれた教育
- ・実際に手技を体験できたこと

- ・実習に積極的に参加できたこと
 - ・CCで実際の患者さんをみれたこと
 - ・Post-CC OSCEを実施してくださる
 - ・早い段階から病院実習があったこと
 - ・実習で心肺蘇生が実際にできたこと
 - ・定期的の上級生が下級生に医療面接や診察手技を指導する機会があったこと
 - ・試験のレベルが高すぎず、その学年ごとに無理のない範囲で学習が進められた
 - ・生理学の授業で病態学も少し交えて教えてくれて、後々の勉強がスムーズであった
- ・優秀な先生方
 - ・先生方が教育熱心だったこと
 - ・6年生で空いている時間が多いので、自学自習できる時間がある
 - ・特に国家試験期間中に大学側から介入が少なく、学習にとって良い環境であったこと
- ・部活動や様々なコミュニティに属し、良い人間関係を構築できたこと(2)
 - ・切磋琢磨できる仲間と出会えたこと
 - ・勉強だけでなくさまざまなことに取り組めたこと
 - ・部活動やアルバイトなどの社会的な経験を積んだこと
 - ・クラブ活動などを通じてコミュニケーション能力がついたこと

2.2 6年間の大学教育でもっとも改善すべきだと思うこと

- ・講義をわかりやすくすること(2)
 - ・教育制度
 - ・終業実習
 - ・基礎医学の知識がうまく結びついていない
 - ・同科目でも統一されていないレジュメ
 - ・特に下級生の講義のレジュメの見にくさは改善していただきたい
 - ・コロナで変わった点もあるも、PDFの配布などのデジタル教育を基礎・臨床で使うべき
 - ・CCのオペ見学
 - ・国試対策の授業
 - ・エクストラ実習の冗長さ
 - ・オンラインと対面のバランス
 - ・強いて言えば、コロナ禍のなか、あまり授業が受けられなかったこと
 - ・低学年からポリクリのような少人数への授業にするべき。科の中でも分かりやすく記憶に残る先生とそうでない先生がおり、また、教材の形式も異なることが多く、結局その教材を見返さないのでもったいない。科を超えて一貫した形式で授業がされれば教材を見返すと思う。難しければ、全診療科の授業だけ行う部門を作って、そこが統括することもいいと思う
- ・設備
 - ・ネットワーク環境
 - ・グループ学習室の拡大
 - ・自習できる場や時間がかぎられていること

- ・学生のためのスペースが十分に用意されていないこと
- ・自習室が行事や試験等で使用不可になることが少し不便だった。特に、大学入試前後は臨床実習の合間に学生が滞在できる場所がなく食堂以外に昼食を食べられる部屋もなかったので大変だった記憶がある。敷地が限られているため難しいと思うが、完全独立の自習室があれば有難いと思う瞬間が幾度かあった
- ・予備校との交流が少ない
- ・目指すべき目標を早期に知ることができたらよかった
- ・自分が社会にどういう風に役に立つことができるかを考える機会が少なかった
- ・特になし(16)

2.3 6年間の大学生活で何を得たか

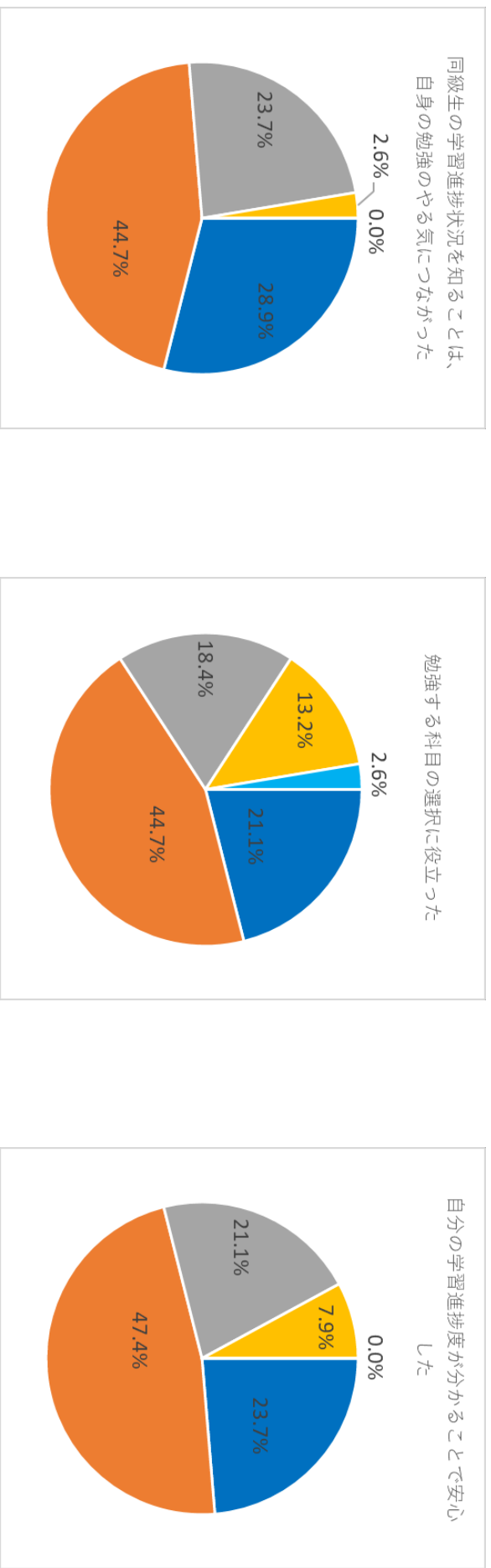
- ・知識(11)
- ・医師としての心構え(7)
- ・コミュニケーション力(7)
- ・友人や先輩後輩、先生方等、人との繋がり(7)
- ・協調性(3)
- ・人間力(3)
- ・色々な経験(2)
- ・智仁勇の体得(2)
- ・リーダーシップ(2)
- ・患者さんと接する姿勢(2)
- ・勇気
- ・自己研鑽
- ・社会性
- ・継続力
- ・今後医療に携わる覚悟
- ・相手の立場にそって考える習慣
- ・社会の厳しさを学ぶことができた
- ・様々な人と会い、色々な考え方があることを知った

3 目指す将来像

- ・周りから信頼される医師(8)
- ・智仁勇の揃った医師(4)
- ・患者さんに寄りそえる医師(4)
- ・学長
- ・共感できる医師
- ・チーム医療ができる医師
- ・何事にも対応できる医師
- ・地域医療に貢献する良き家庭医
- ・誰にでもいい医療を提供する医師

- ・ これからの医療をつくる人間になる
 - ・ 一人一人に合わせた治療ができる医師
 - ・ 患者さんの気持ちに寄り添えられる医師
 - ・ 責任感のある、人の温かみを持った医師
 - ・ 技術だけでなく患者に愛されるような医師
 - ・ 1人の医師として活躍できる良医であること
 - ・ 自信を持って初期対応にあたることができる
 - ・ 患者さんのニーズにしっかりと応えられる医師
 - ・ 患者さん、同僚など様々な立場にとって必要不可欠な医師
 - ・ 業務を滞りなくこなし、その中で患者さんの役に立てる医師
 - ・ 子どもに将来こんな医者になりたいと思ってもらえるような医師
 - ・ 患者のことを第一に考え、治療することができ、国際的にも活躍できる医師
 - ・ 体調面で最良のコンディションを維持し、患者にとって最善の医療を提供すること
 - ・ 医療従事者ではない人の視点を忘れることなく、確かな知識と技術を持って働く医師
-
- ・ 決まっていない
 - ・ なし

4 学習進捗アンケート (9月～12月実施) について



■ 非常に同意できる
 ■ 同意できる
 ■ どちらともいえない
 ■ 同意できない
 ■ 全く同意できない

5 (株) メディックメディア提供の医師国試模試について

- ① 模試の結果を知ることは、自身の勉強のやる気につながった
- ② 自分の模試の結果は思っている通りだった
- ③ 今後もこの模試の無償提供を継続するほうが良いと思う (第1回/2022年7月)
- ④ 今後もこの模試の無償提供を継続するほうが良いと思う (第2回/2022年12月)
- ⑤ 今後もこの模試の無償提供を継続するほうが良いと思う (第3回/2023年1月)

